



夢づくりトーク

中学生と考える長洲町のこれから

中学生と中逸町長が直接意見交換を行う「夢づくりトーク」を7月12日に腹栄中学校、7月19日に長洲中学校の3年生を対象に行いました。夢づくりトークは、将来を担う中学生と町長などとの交流を図り、中学生に地域のことや将来の町のことについて真剣に考えてもらうために毎年行っています。

長洲中学校では、『夢づくりトークwith議会』と題して、実際の議会の一般質問形式で町長をはじめ各課長に質問をするなど、初めての取り組みを行いました。町議会議員や町教育委員会協力のもと、グループディスカッションをするなど質問の準備をして議会に臨みました。





夢づくりトーク with 議会
実際の議会形式で質問をぶつけました！

7/19 長洲中学校



夢づくりトーク

7/12

腹栄中学校



【質問・意見内容】（一部抜粋）

Q まちづくりを行うにあたって大切なことはどんなことですか

A 町民の皆さんが安全に安心して暮らすことができ、皆さんが住んで幸せを感じることができ、元気な町を創ることです。そのためには、定住化の促進や教育、福祉、産業が盛んなまちにするなど、さまざまな取り組みが必要です。

町では、町民の皆さんの生活を支え、安全に安心して暮らせる町を創るための基本的な計画を定めた「まちづくりの計画書」である「第5次長洲町総合振興計画」に基づいて、様々な事業に取り組んでいるところです。

Q 六栄小学校にもコンビニやマクドナルドなどのお店がほしいです

A 現在、六栄小学校の隣にある日立造船（株）宮野社宅を解体し、その跡地に地域優良賃貸住宅を整備しています。この住宅は、子育て世帯など250世帯が住めるように整備を進めているものです。

町では、このような事業が進み、六栄小学校区の魅力が向上することで、お店を出店していただける会社がでてくるのではないかと

期待しているところです。

今後、このように地域の魅力が向上していくことをPRし、企業に働きかけを行うことで出店が実現するよう努力したいと考えています。

Q 町のお金がかからずに自分たちができることは何ですか

A 草刈りや側溝の泥上げなどの住民共助による活動や資源ごみ回収などのボランティア活動に取り組むことです。生徒の皆さんにも、町をより良くするために、ボランティア活動などに参加していただき、町の環境美化に協力してもらったり、町に対してアイデアや意見を提案してもらうなど、色々とお手伝いしていただければと思います。また、町では中学校3年生までの医療費を無料にしていますので、早めに病院を受診し、病気が重くならないようにして健康に暮らしていただくことで医療費の抑制につながっていきます。

また、将来皆さんが給料をもらうようになったとき、町にふるさと納税をしていただければうれしいです。

【質問・意見内容】（一部抜粋）
Q 特別教室にも空調機（エアコン、地中熱）を設置してほしいです

A 昨年度、町内小中学校の普通教室（49部屋）にエアコンと地中熱利用換気システムを設置しました。特別教室にも設置するとなると、設置費や設置後の維持管理費が必要となり、多額のお金が必要となります。財政状況を考慮しながら判断していきます。

Q 学校帰りの道が暗いので、街灯や防犯灯を増やしてほしいです

A 現在、町で設置している街路灯は、役場前の道路やジョイフル前の道路のような大きな幹線に設置しています。防犯灯は、行政区と行政区の間を中心に設置を行い、平成28年度には25基を設置しました。各地域での防犯灯については各行政区で設置する場所を選定した上で、設置されています。平成28年度には17基が設置され、町では、設置費用やLED灯に切り替えるための費用を助成しています。

生徒の皆さんが安心して通学できる安心安全なまちづくりを進めるために、街路灯、防犯灯の設置を進めるとともに、本年度は町内12カ所に防犯カメラを設置するなど防犯の強化を図っていきます。

Q 町には外国人がたくさん住んでいるので、国際的な祭りや中高生が魅力を感じるようなイベントを考えてほしいです

A 町には長洲町国際交流友の会という団体があります。クッキング教室や英会話の交流活動を実施されています。毎年9月に開催している「英語でしゃべらないと」など積極的に参加していただき、国際的な文化に触れていただきたいです。

また、ジャパンマリンユナイテッド（株）有明事業所のベトナム研修生の皆さんは、毎年「のしこら祭金魚こしレース」に参加されたり、上沖洲区では、（株）リクシル有明工場のベトナム実習生の皆さんと一緒に、防災訓練やまつりを開催されたり、清源寺区では区の伝統芸能である神楽にALTや区内在住の外国人の皆さんが参加し、習得した技術を小学生に伝承するといった活動をされています。

今回ご要望いただいた、中学生や高校生が魅力を感じるイベントにつきましては、ぜひ中学生の皆さんの若い考えでいろいろな企画を考えていただいて、私たちもその取り組みを支援していきたいと思っておりますので一緒に頑張っていきたいと思います。

